

# 大豆防除情報

平成22年9月16日発行

## 1 ハスモンヨトウの防除について

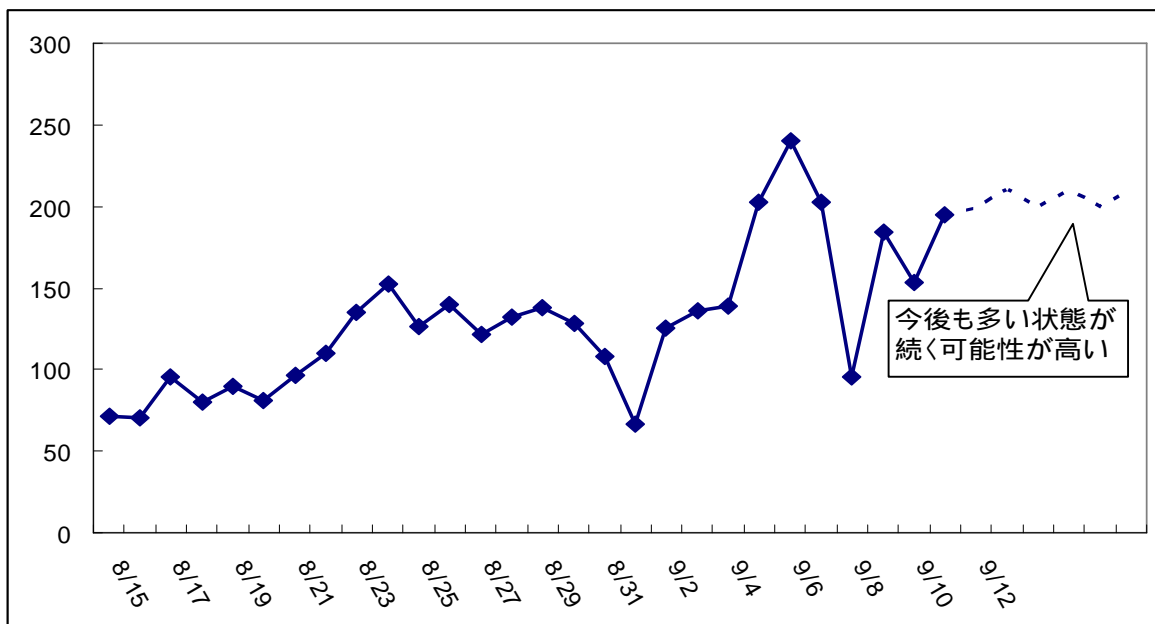
フェロモントラップの誘殺状況によると、虫の数が多い状態が続いています（グラフ参照）。今年に残暑が厳しく、ハスモンヨトウの発生に適した気象となっています。今後の発生も、多い状況が続くと考えられますので、注意をしてください。

成虫発生のピークは9月7日に確認されています。

このことから、防除適期は9月17～23日と予想されます。

また、オオタバコガの発生も多く見られます。ノーマルト乳剤は、効果が劣るので注意してください。

（参考）フェロモントラップ誘殺数（H22年度 南筑後普及指導センター管内）



## 2 防除薬剤

薬剤名（希釈倍率）	対象病害虫	使用回数	備考
プレバソフロアブル5（4000倍）	ハスモンヨトウ オオタバコガ	3回以内	希釈水量は、10a 当り100 です。

カメムシ及び紫斑病対策がまだの方は、下記農薬を混用してください。

薬剤名（希釈倍率）	対象病害虫	使用回数
キラップフロアブル（2000倍）	カメムシ類	2回以内
トップジンM水和剤（1000～1500倍）	紫斑病	4回以内

### 3 大豆葉焼病について

現在各地で葉焼病が確認されてつつあります。

おもに葉に発生する細菌病です。症状は、大豆の葉全体が淡黄色になり、葉の表面には、黒褐色の斑点とそのまわりに黄白色のかさが見られます。ひどくなると落葉します。

下記の薬剤も混合のうえ、散布をお願いします。

薬 剤 名 (希釈倍率)	対象病害虫
バリダシン液剤5 (500倍)	葉焼病